



のぞみ

荒川区立第五中学校

第1学年通信

第26号

2023年9月28日(木)



清里作文特集 その3

「五中の集団行動」

中学校初めての清里移動教室です。小学校5年生の時に清里に移動教室が行きましたが、残念ながらその時は新型コロナウイルスが流行していた時期だったので、1泊2日しかできなかったのが悲しかったです。なので、今回の清里は楽しみでした。

僕が清里で楽しかったのは2つあります。1つ目はナイトハイクです。ナイトハイクをガイドしてくれたあだ名が「ラビット」さんが、楽しいゲームをしてくれたからです。山のネズミという意味で「ヤマネ」という手のヒラに乗るくらいの小さな動物のぬいぐるみを、実際にいそうな木の上に隠して、それを探すというゲームです。外が暗かったので怖かったけど、正解できたので嬉しかったです。それから、目隠しをしてひもを持って歩くという体験した時に、こんなに暗いところで生活しているから「すごい」と思いました。

2つ目は科学技術館です。科学技術館には色々な体験コーナーがりましたが、その中で体当たりをするとどれくらい力がでるか競うコーナーが楽しかったです。僕164キロでしたが、ハイスコアの人は266キロだったのでエグ!!と思いました。僕が得意だったのはシャボン玉カーテンです。上手にやるコツは、最初は早くひもを引いて最後はゆっくりひもを引いくといいです。最初は難しかったけど、何回もやっていくうちに慣れて達人になれたので、嬉しかったです。プライベートでもまた来たいなと思いました。

最後に皆で楽しい思い出を持って帰って来られたので嬉しかったです。最高の五中だな!!と思いました。読んでくれてありがとう!!

「役割」

私は清里で自分の役割を意識して頑張りました。レク係では、「みんなで楽しく安全で最高の思い出にする」という目標を立てました。学年の全員が最後まで、楽しい時間を過ごせるように、あまり時間はありませんでしたが、放課後を使ってクラスごとにやる内容を決めました。

1組では貨物列車、3組ではハンカチ落とし、2組ではバナナ鬼をすることになりました。清里の日、1日目の夜に係会があり、翌日のリハーサルをしました。リハーサルを実際にやってみたので楽しかったです。そして本番! 2日目の夜になりました。ルール説明はあまり準備ができなかったのが、少しくだぐだになってしまったと感じました。でもみんな、一人一人が楽しく笑顔で終わることができたと思います。

来年の下田移動教室のためにも、普段の係りの仕事をしっかりとできるようにしたいです。係りの仕事や自分の役割をはたすと、自分もスッキリし、相手も笑顔になれるということが清里でわかったからです。なので、そうじなども同じことだと思いました。きれいにすれば自分も達成感を感じ、使う全員が教室を快適に使うことができると思いました。今後も意識して生活していきたいです。



